

能楽鑑賞

あきらか
炯の会 特別奉納

令和六年十月五日（土）午後一時三十分開演

於 三輪山会館 能楽堂（J R三輪駅東隣）

能三輪

〔主催〕 能楽鑑賞炯の会

〔協賛〕  三輪山本

〔協力〕 一般社団法人 伝統文化交流協会

令和六年十月五日(土)

▼午前十一時

於三輪明神 大神神社拝殿

正式参拝 (要事前申込み)

正式参拝に参列申込をされる方は、まず、カンフェティのチケット販売にて【正面指定席】(八千円)のチケットをお求めいただいております。下記のLINE公式アカウントのQRコードを読み取り、お名前など必要事項をご記入の上、お申し込みください。(定員八〇名・先着順)

当会から三輪神社に正式参拝者登録をいたします。こちらのLINE登録をせずに正式参拝されましても記念品などが用意できない場合がございます。



正式参拝申込み専用 LINE 公式アカウント

▼午後一時三十分(午後一時開場)

於三輪山会館 能楽堂

能楽鑑賞

解説 「能楽五人囃子の紹介」 「三輪の能と三輪山伝説」

三輪

巫女 味方 玄 能

間 里男 小笠原弘晃

後見 青木 道喜 梅田 嘉宏

地謡

青木真由人 片山峻佑 井戸良祐
谷弘之助 浅井伸吾
大江泰正 大江信行

山本 哲也 井上 敬介
大倉源次郎 齊藤 敦

鼎談 「三輪を巡って」

関 容子 関 裕二 大倉源次郎

(終了午後四時三十分頃)

能楽鑑賞焔の会特別奉納

大和の地で誕生した能楽は日本各地の伝説を大和に伝えると共に、大和の物語を世界に広める役割を果たした。

終曲部に語られる『思えば伊勢と三輪の神、一体分身の御事。』と語り継がれた謎の一文が纏向古墳の発掘調査で伊勢神明造と出雲大社造りが仲良く並んで出てきたことで証明がなされたことは記憶に新しい。

国づくりの神話が伝える古代のエピソードと現代への警鐘。

関容子様と関裕二様をお迎えし日本最古の神社で能楽を題材に語り合うことで日本文化の底流を知るきっかけとなることでしょう。

能楽小鼓方大倉流十六世宗家 大倉源次郎

「三輪」あらすじ

晩秋、三輪の山陰に庵を結ぶ玄實僧都(ワキ)のもとへ、毎日手向けの水を汲み、訪ねてくる女(シテ)がいる。ある晩、女は玄實に、今宵は夜寒ゆえ衣を一枚賜りたいと頼む。玄實は快く応じて女に衣を与え、ついでに住みかを尋ねると、女は「三輪の里の杉立てる門を目印に訪ねてきてください」と言い残して姿を消す。(中人) 三輪の里人(テイ)から、三輪明神の杉に衣が掛かっていたと知らされた玄實が三輪明神を訪ねると、御神木の杉に掛かっていたのは、まさに女に与えた衣であった。すると、その木陰から神の声がして女体の三輪明神が姿を現し、三輪山に伝わる神と人との夫婦の説話を物語り、これこそ「神楽」のはじめなりと天岩戸の神遊びを見せると、夜明けとともに消えてゆく。

あきらか 能楽鑑賞焔の会 特別奉納

◆正式参拝 大神(三輪)神社拝殿

※正式参拝出席者には三輪山会館に午前10時から終演まで荷物置き場としてクロークを設けます。
※三輪山会館から大神(三輪)神社拝殿までは徒歩10分程かかります。
※先着80名、事前申込みが必要です。(上記のお申込み・ご登録方法をご確認ください)

◆能楽鑑賞 三輪山会館 能楽堂

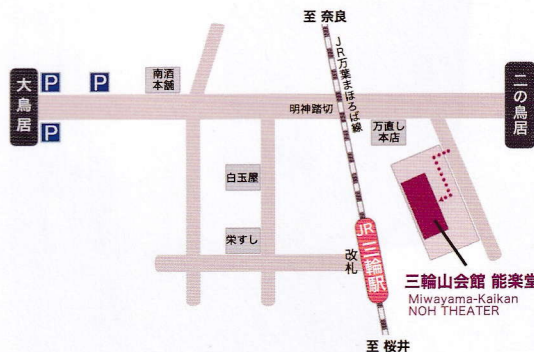
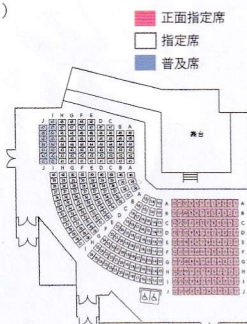
(入場料) 正面指定席 8,000円
指定席(中正面・脇正面) 5,000円
普及席(脇正面後方) 1,000円

(お申込み・お問合せ) カンフェティ

(WEB) <http://confetti-web.com/@/knohkai>

※ご購入時にGETTUIS会員登録(無料)が必要です

(電話) 0120-240-540 (平日 10:00~18:00)



【徒歩】JR「三輪駅」徒歩約5分(三輪駅東隣)

【バス】近鉄大阪線「桜井駅」北口2番乗り場より「三輪明神参道」下車、徒歩約10分

(三輪山会館) 桜井市三輪1422番地/TEL 0744-42-6633

主催：能楽鑑賞焔の会

協賛：三輪山本

協力：一般社団法人 伝統文化交流協会